全農ES

自己P300

私の長所は【課題解決の為に自】

学生時代打ち込んだ事600

弱小チームで県大会出場を目指した事です。私は高校時代に部員12人のサッカー部に所属していました。公式戦では、一回戦敗退がお決まりで、私はこの現状を打破するべく、毎朝５時には起きて練習をしました。その結果、個人スキルや体力面が向上しました。しかし、試合では敗れ、流れを変える様なプレーも出来ませんでした。その時、監督から「一人で何でもやろうとして仲間との連携がまるでダメだ」と指摘され衝撃が走りました。それまで自分さえ上手くなればいいと考えていましたが、チームスポーツでは通用しない事を実感しました。そこで、私はこれまで漠然と考えていた県大会出場という目標を達成する為に、チームミィーティングでそれまで一人で行っていた朝練を有志で行う事と練習で甘さを出さない事を呼びかけました。最初は少なかった朝練のメンバーも徐々に増え、最終的にほぼ全員が朝練に参加するようになりました。その結果。チーム全体の取り組む姿勢や、個人のスキルアップはもちろん、課題だった連携プレーも向上しました。迎えた公式戦では初めて予選を突破し、東部地区大会に進出しました。残念ながら準決勝で敗れ、県大会出場の夢は叶いませんでしたが、目標を明確にし、達成する為に周りに働きかける事で、それまでの現状を改善できると学びました。

アルバイトの目的と得たもの300

大学時代に

志望理由とどの事業に興味がある360

実家が農家である為、農業に関心がありました。高校時代に強風で収穫前の米が全て倒れてしまい大きな被害を受けた事をきっかけに、天候や自然に影響を左右されにくく、美味しいお米を開発したいと考え、現在の大学に進学し、植物の環境ストレス耐性について研究しています。研究する過程で植物機能だけでなく、日本における食物自給率の低さや農家の後継者不足などの日本農業が抱える問題を目の当たりにし、解決したいと強く感じました。そこで、日本の農業におけるハブとしての役割を担っており、生産農家や消費者と共に国内農業を発展させていくために必要不可欠な組織だと考えて入会を決めました。

事をきっかけに収穫前の米農業が盛んな地域で生まれ育ったため、就職活動においては農業に貢献できる仕事に就きたいと考えていました。その中でも全農は日本の農業におけるハブとしての役割を担っており、生産農家や消費者と共に国内農業を発展させていくために必要不可欠な組織だと考えて入会を決めました。

農業、食に興味関心を持っている事ときっかけ250

実家が農家である為、幼い頃から作業を手伝うことで植物や自然に強い興味を持っていました。高校時代に強風で収穫前の米が全て倒れてしまい大きな被害を受けた事をきっかけに、天候や自然に影響を受けにくく、美味しいお米を開発したいと考え、現在の大学に進学し、植物の環境ストレス耐性遺伝子について研究しています。その過程で植物のストレスに対する機能だけでなく、それを日本の農業に活用できれ

希望質問意見200